

西洋建築史

番外 - 期末試験の例題

中島 智章

序.あらまし

試験は三択問題(20題20問)、穴埋め問題(5題20問)、自由筆記問題(2題2門)の三部からなっています。
過去問の代りに下に例題を掲げます。量は本番の五分の一強。

1.次の建築作品の施主または作者を右の3人の中から選べ。

- 1) 階段ピラミッド(サッカラ): 第3王朝ネテリクヘト王 第4王朝スネフェル王 第18王朝アメンヘテプ3世
- 2) ドムス・アウレア(ローマ): アウグストゥス帝 ネロ帝 ハドリアヌス帝
- 3) サン=ヴィターレ大聖堂(ラウェンナ): ホノリウス帝 テオドリクス大王 ユスティニアヌス帝
- 4) サン=ドゥニ修道院教会(パリ北郊): ルイ7世とシュジェール ルイ8世とスゲリウス ルイ9世とスゲリウス

2.次の文章中の空欄を日本語(漢字・平仮名・片仮名)で適切に埋めよ。

- 1) フランス王()のイタリア侵攻を一つの契機として()と称する新しい築城術が発展した。これは多角形の平面をもち、隅部では火砲の死角をなくすべく稜堡または()という部分が突出していて、遠くから見るとほとんど地に伏せたような造りとなっている。1703年にフランス元帥にまで登りつめた()は、この築城術を完成の域にまで高めた。

3.下に掲げる主題について自由かつ適切に述べよ。

- 1) フライング・バットレスを説明するためにゴシック教会堂の断面略図を描き、その特徴と意義を指摘せよ。余裕があれば、その略図に知る限りのディテール名を書入れよ。